

# 社会資本総合整備計画(第4回変更)

## 氷見<sup>ひみ</sup>地区都市再生整備計画

平成26年12月12日

富山県 氷見<sup>ひみし</sup>市

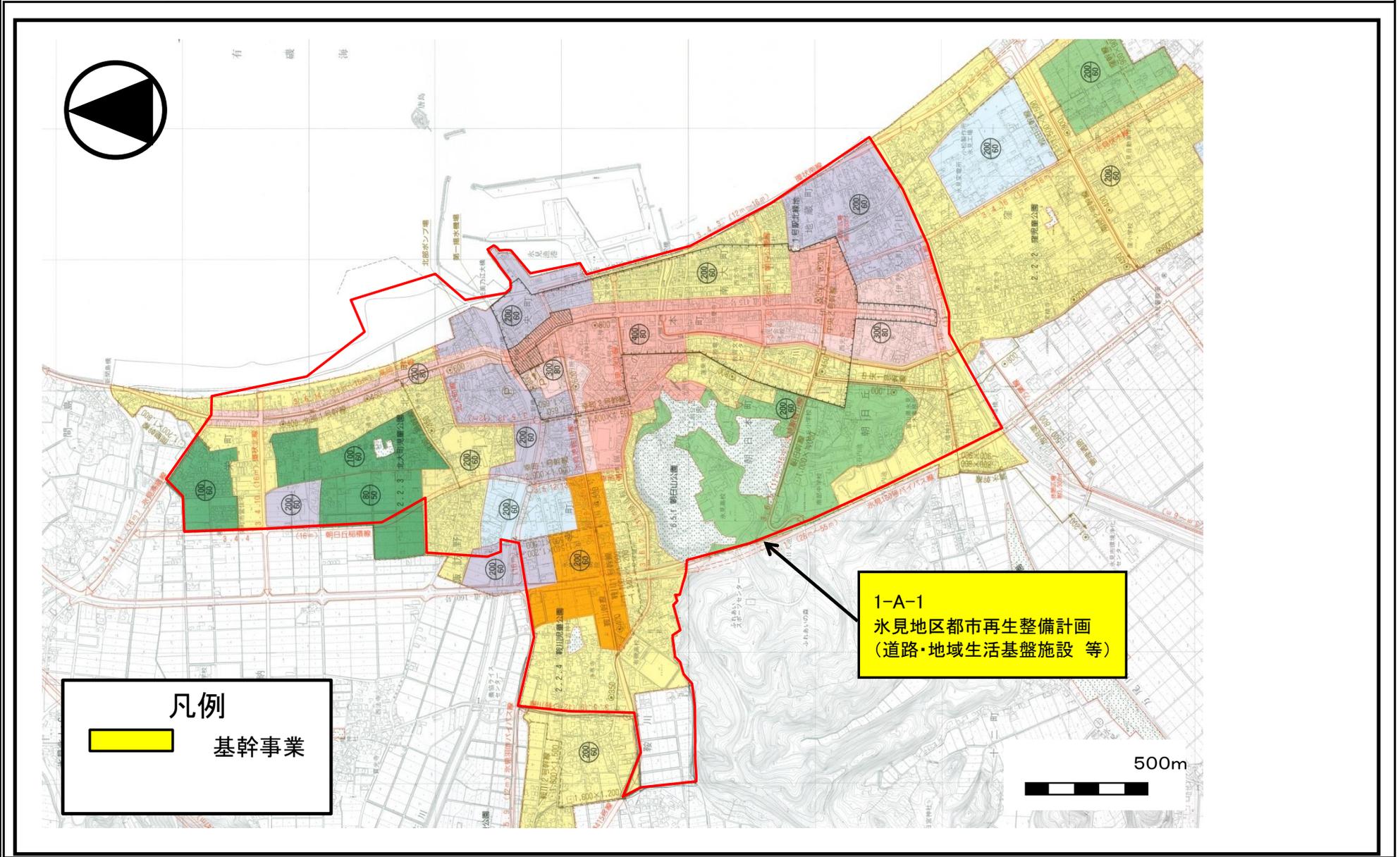
社会資本総合整備計画

平成 26年12月12日

計画の名称	氷見地区都市再生整備計画																																	
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)					交付対象	氷見市																											
計画の目標	<p>大目標：観光客と住民が行き交うまちなかづくり</p> <p>目標1 観光資源を結ぶ歩行者ネットワークの形成や案内板整備を継続し、中心市街地での回遊性を高め、来訪者による賑わいのある街の形成を目指す。</p> <p>目標2 食都ひみ、祭りや漫画などの氷見市の資源を活用し、交流拠点施設や休憩施設等の整備による賑わい空間等を形成し、300万人交流を目指す。</p> <p>目標3 学校や市民会館などを連絡する道路を整備し、生活環境向上を目指すとともに、人的交流を支援し、中心市街地の賑わいある街を目指す。</p> <p>目標4 集客観光施設や交流拠点施設を通して、氷見の食文化や古くから受け継がれてきた漁村文化を再認識し、地域に根ざした文化の保存・継承を目指す。</p>																																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内人口の減少数を -161人/年 (H21) から-110人/年 (H27) に抑制</li> <li>・来街観光客数を 2,079人/日 (H21) から2,850人/日 (H27) に増加</li> <li>・地区内イベント参加者数を 178,016人/年 (H21) から176,000人/年 (H27) に維持</li> </ul>																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H21当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民基本台帳 (12.31現在) による前年からの減少者数</td> <td>-161人/年</td> <td>—</td> <td>-110人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>観光施設への来客数</td> <td>2,079人/日</td> <td>—</td> <td>2,850人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中心市街地におけるイベント参加者数</td> <td>178,016人/年</td> <td>—</td> <td>176,000人/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	住民基本台帳 (12.31現在) による前年からの減少者数	-161人/年	—	-110人/年		観光施設への来客数	2,079人/日	—	2,850人/日		中心市街地におけるイベント参加者数	178,016人/年	—	176,000人/年	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)																															
住民基本台帳 (12.31現在) による前年からの減少者数	-161人/年	—	-110人/年																															
観光施設への来客数	2,079人/日	—	2,850人/日																															
中心市街地におけるイベント参加者数	178,016人/年	—	176,000人/年																															
全体事業費	合計 (A+B+C)	1040百万円	A	1040百万円 (うち提案事業分 134.9百万円)	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 (A (提案分) + C) / (A+B+C)	13.0%																								
<b>交付対象事業</b>																																		
<b>A1 基幹事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H23	H24	H25	H26	H27																					
I-A-1	都市再生	一般	氷見市	直接	氷見市	氷見地区都市再生整備計画	道路、地域生活基盤施設等350ha	氷見市						1,040	別添1																			
合計														1,040																				
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H23	H24	H25	H26	H27																					
合計														0																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考																			
<b>C 効果促進事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																			
									H23	H24	H25	H26	H27																					
合計														0																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考																			

(図面)

計画の名称	水見地区都市再生整備計画	
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象 水見市



# 都市再生整備計画(第4回変更)

氷見地区

富山県 氷見市

平成26年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	ひみし市	地区名	ひみちく 氷見地区	面積	350 ha
計画期間	平成 23 年度	～	平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度	～	平成 27 年度

### 目標

#### 大目標：観光客と住民が行き交うまちなかづくり

- 目標1 観光資源を結ぶ歩行者ネットワークの形成や案内板整備を継続し、中心市街地での回遊性を高め、来訪者による賑わいのある街の形成を目指す。
- 目標2 食都ひみ、祭りや漫画などの氷見市の資源を活用し、交流拠点施設や休憩施設等の整備による賑わい空間等を形成し、300万人交流を目指す。
- 目標3 学校や市民会館などを連絡する道路を整備し、生活環境向上を目指すとともに、人的交流を支援し、中心市街地の賑わいある街を目指す。
- 目標4 集客観光施設や交流拠点施設を通して、氷見の食文化や古くから受け継がれてきた漁村文化を再認識し、地域に根ざした文化の保存・継承を目指す。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 本市も他市町村と同様に急激な人口減少や少子高齢社会となる中で、当地区は、本市の商業中心地として栄えてきたが、モータリゼーションの振興や郊外型大型店舗の進出といった外的要因に加えて、市街地道路網の整備の遅れ等により、中心市街地の求心力が低下している。
- そのような状況の中、当地区においては、平成17年度～平成21年度にかけて、第一期都市再生整備計画を実施し、バリアフリー化などの歩道整備や案内板の設置、潮風ギャラリーの整備、本市出身の漫画家「藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>」氏の人気キャラクターを活用した貯水庫壁面のデザインなど、多岐に渡る整備を実施し、観光客数は微増傾向となっている。しかし、その多くは立ち寄り型の利用が殆どとなっており、市街地全体への波及効果が少ない状況にある。
- 平成21年度には、第一期都市計画整備計画の事業効果評価を実施し、解決した課題や未解決の課題、新たに生じた課題等を整理している。
- 上記の課題等を踏まえ、継続してまちづくりを進めるため、第二期氷見市都市整備計画策定を検討。
- 第二期氷見市都市整備計画策定にあたっては、当地区に在住の各種団体の代表者からなる「都市再生整備計画策定委員会」を設け、諸施策の内容を検討してきた。
- 平成24年度には、まちづくりの基本方針・施策などを示す「第8次氷見市総合計画（H24-H33）」がスタートした。
- 平成24年秋、地域の振興と交流・観光に大きな役割を果たした「海鮮館」が閉館。また、同じ氷見漁港区域内に新たな食文化発信施設「ひみ番屋街」や「総湯」が営業を開始した。

#### 課題

- 第一期事業において掲げていた新たな集客施設の建設延期に加え、天災(能登半島地震)などにより、既存施設の機能向上や再整備などによる集客力の効果が発揮できなかった。
- 中心市街地の魅力度が低く、さらに日常生活への需要が不足しているため、来街者や住民が中心商店街に訪れることが少ない。
- 能越道氷見IC開通や高速道路料金の1,000円化などにより、海鮮館への来街観光客が増加したが、車での来館が大半であるため駐車スペースが不足し、交通渋滞や路上駐車などが発生している。
- 市民ギャラリーなどの整備により、交流人口が増えたことから、来街観光客がまちなかでゆっくりと滞在できるオープンカフェのような場所の必要性が高まった。
- 氷見市の基幹産業である水産業の振興と漁村の活性化を図るため、受け継がれてきた漁村文化にふれる機会・情報発信施設の必要性が高まっている。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 第7次氷見市総合計画(H14-H23)では、「減少する将来人口を前提とした計画」として、人口の定着と増加に努めるとともに、国内外の地域との交流と連携を積極的に進め、地域の活性化をもたらし交流人口の増大に積極的に取り組んでいく旨を目標として掲げている。
- 氷見市都市計画マスタープランでは、「定住と交流の促進、定住と交流の調和」を目標に、「マリノーションの推進」「都心居住の推進」「市街地内住環境整備」を図るものとしている。
- 氷見まちづくり戦略会議宣言書では、「6万人定住と200万人交流のまちづくり」を目標に、「マリノーション地区の利活用」と「中心市街地のまちづくり」を推進している。
- H24施行の第8次氷見市総合計画(H24-H33)では、「人 自然 食を未来につなぐ交流都市 ひみ」を目指す将来像として掲げ、氷見市を取り巻く日本社会全体が厳しい変革期に入っているなかで、豊かな自然や歴史・文化を礎に、内外との積極的な交流・連携を展開し、市民がふるさに対して自信と誇りを持ち、心のゆとりと温かみを感じて、真に質の高い生活の実現を目指します。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内人口の減少数	人/年	住民基本台帳(12.31現在)による前年からの減少者数	地区の賑わいを回復させるとともに、環境整備による定住人口の流出を抑制する	-161	H21	-110	H27
来街観光客数	人/日	観光施設への来客数	集客の核となる観光施設を訪れる来客数増加を目指す	2,079	H21	2,850	H27
湊川リバーウォークの歩行者数	人/年	湊川リバーウォークにおける歩行者数	郊外からまちなかへの回遊性の向上を図り、中心商店街の歩行者数増加を目指す	48,500	H21	49,000	H27
地区内イベント参加者数	人/年	中心市街地におけるイベント参加者数	中心市街地におけるイベント開催を支援し、賑わいあるまちづくりを行う	178,016	H21	176,000	H27
漁村文化に関する学習会・研修会の開催数	回/年	(仮称)漁業交流館での実施回数	学習会・研修会の開催し、漁村文化の保存・継承の意識向上を目指す	11	H24	30	H27

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1.観光客の回遊性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内に点在する観光拠点や文化財、中心商店街、交通結節点を連絡する、快適に周遊できる歩行者空間の形成を継続する。</li> <li>・来訪者によるまちなか周遊を促す案内施設の整備を継続するとともに、湊川や上庄川沿いの周遊ルートを整備する。</li> <li>・「まんがロード」づくりの継続や、空き店舗を活用した市民ギャラリー展示の継続に加え、様々なイベントの開催などと連携する。</li> <li>・『魚』や『牛肉』などの「氷見ブランド」を活用した食のイベントなどとの連携により、観光客の誘導や集客を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基幹事業:道路事業(地方道)、地域生活基盤施設、高質空間形成施設</li> <li>■提案事業:地域創造支援事業</li> <li>■関連事業:市民ギャラリー、祭り等</li> </ul>
<p>2.新たな集客拠点と休憩施設等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北大町埋立地地区に計画されている新たな集客拠点施設の整備と連携し、展望台等の整備により地区拠点を形成する。</li> <li>・交流拠点や交通結節点における休憩施設(トイレ)を整備し、来街者へのサービス向上を図る。</li> <li>・受け継がれてきた漁村文化を発信する施設を整備し、地域に根ざした文化の保存・継承を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基幹事業:高質空間形成施設、既存建造物活用事業</li> <li>■提案事業:地域創造支援事業</li> <li>■関連事業:集客拠点施設</li> </ul>
<p>3.生活環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急激な地区内の人口減への対策として、住民が市街地居住の利便性を享受するため、老朽化した雨水排水路を更新するとともに、地区内の主要施設を連絡する歩行空間を整備する。</li> <li>・ポケットパークを整備し、地域住民の交流の場を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基幹事業:道路事業(地方道)、地域生活基盤施設</li> </ul>

## その他

- 1.「合同会社まちづくり氷見」について  
氷見産物・観光のPR、氷見産物の販売などを、中心市街地において中心的に活動を行っている。  
氷見商工会議所、観光協会、農協、漁協、ケーブルテレビ、氷見市によって設立された。  
<活動目標>  
■新会社を立ち上げ、北大町市有地で建設する商業施設を運営することを目標としている。この新会社は、市民・民間主導型の株式会社とし、現在の「合同会社まちづくり氷見」の活動、組織を引継ぐ予定である。  
■将来的には、中心市街地活性化事業のTMOの役割を担うべく、空き店舗対策、賑わい創出のための各種イベント実施、駐車場・空地の管理運営、土産品等の製造販売、高齢者の福祉事業など、幅広く事業を展開し、氷見の活性化を目指している。  
■商店街等と協働して、まち中におけるイベント活動を実施予定。  
<活動内容>  
■楽天市場に出店し、干物をはじめとした氷見の特産品をネット販売  
■氷見市の指定管理者として潮風ギャラリーの管理運営  
■氷見市から委託を受け、北大町市有地の利活用について「基本構想」を策定

- 2.「氷見まちづくり株式会社」について  
能越自動車道路建設と北陸新幹線開業に対応し、氷見の魅力が集まった観光物販施設・休憩施設(氷見市北大町)の運営を行う。  
市や経済団体等が出資する「第三セクター方式」の株式会社として平成23年5月25日に設立された。  
■主な業務:「氷見漁港場外市場 ひみ番屋街」「氷見温泉 総湯」の企画、建設並びに管理運営  
■「氷見漁港場外市場 ひみ番屋街」「氷見温泉 総湯」は、市内や県内はもとより、石川、岐阜、長野など近県からの日常的なリピーターや東京、大阪、名古屋など三大都市圏をはじめとした広範な地域からの利用客の確保を目指す。





都市再生整備計画の区域

ひみちく とよまけん ひみし 氷見地区（富山県氷見市）	面積 350 ha	区域 北大町、大野新、中央町、丸の内、本町、南大町、地藏町、伊勢大町1丁目、伊勢大町2丁目、幸町、朝日本町、栄町、諏訪野の一部、鞍川の一部、比美町、朝日丘の一部
--------------------------------	--------------	---

